室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校
令和8年度　11月号
校　長　　村越　さゆり

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成

～ やさしく　かしこく　たくましく ～

運動会での挑戦

秋休みが明けて、後期が始まりました。後期の始業式には「何かに挑戦するとき、できるかどうかだけでなくて、やってみようと思うことが大切」という話をしました。今回の運動会では、たくさんの挑戦がありました。今年は６年生が係活動で運動会の運営を支えました。運動会のスローガンを考案し、「記憶に残る!!みんなで楽しい室小運動会」となりました。全校体操は、パプリカの曲に合わせて創作し、各クラスに覚えてもらおうと教えに行きました。応援団も結成し、応援団長の選手宣誓を始め競技の合間にみんなの応援を一致団結させていました。全部で８つの係に分かれ、目立たないところでも、しっかりそれぞれが役割を果たしてくれていました。

さて、子どもたちの演技や競技はいかがでしたか。演技や競技の内容は、各学年の担当教員が夏休み前から、子どもたちが一番輝けるものは何かと思考を凝らしておりました。

１年生は、太陽の光を浴びてキラキラ光るポンポンを大空にかざし踊りました。練習が始まったばかりのときはこのリズムに乗って踊れるのか少々心配でしたが、本番ではリズミカルに飛び跳ね、時には低い姿勢のポーズでステップを踏み、ダイナミックに見事に踊り切りました。２年生は、運動会トップバッターで登場し、自分で考えたスパイやチンパンジーの動きを披露してくれました。授業の草木染で染めたハンカチや自分のサングラスを身につけ、それぞれの個性が引き立ちました。運動場を自由に移動する姿が勇敢でした。３年生は、頭に紫の鉢巻姿で登場し、鳴子を上手に使い「よっちょれ」を軽快なリズムに乗って踊りました。入退場の挿入歌がおじいちゃんおばあちゃん世代に流行った曲でしたが、子どもたちの勇ましい姿を引き立ててくれました。４年生は、学年で揃えた黄色いＴシャツを着て、気持ちが一つになった軽快なヒップホップダンスを披露してくれました。大きく息の合ったかけ声と笑顔に魅了されました。最後にクラスのシャイニングスターを掲げクラス全員でのポーズも見どころでした。５年生は、沖縄伝統芸能であるエイサーをダイナミックに踊りました。頭に紫のターバンを身につけ、力強いかけ声も息ぴったりでした。回転しながら前後に移動するステップが素晴らしく、また、一人一人の太鼓がひとつになって心に響きました。６年生のソーラン節は、一人一人の真剣な眼差しが緊張感と迫力を生み出します。「自分たちの踊る番がついにやってきた」という思いを胸に、全身全霊で踊り切った演技でした。子どもたちの最後の運動会としての意気込みもさることながら、他学年からも憧れられる、頼られる存在であるという自信が伝わる演技、圧巻でした。黒い法被の背中の白い文字には各々の思いがこめられており、それもとても印象的でした。

全学年演技だけでなく競技にも工夫があり、何が出てくるのか楽しみながら応援できました。クラス対抗で競い合う姿は得点につながらなくても、真剣で、互いに励まし合い、楽しんでいました。これからのクラスの団結力につながる競技となりました。

保護者や地域のみなさまには、運動会へ足をお運びいただき、本当にありがとうございました。みなさまの温かいご声援の下、子どもたちはこれまでの練習の成果を、力いっぱい発揮することができました。心より感謝申し上げます。これからも、子どもたちへご支援賜りますようよろしくお願いいたします。